

【2024 SyDE 産官学協働研修 実施報告】2024.4.8~2024.4.12

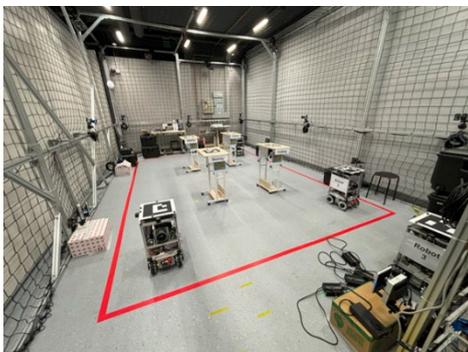
香港サイエンスパークに位置する Centre for Transformative Garment Production において 2024 年 4 月 8 日から 12 日までの 5 日間、産官学協働研修を実施しました。

Centre for Transformative Garment Production は AI 技術とロボティクス技術を活用することで衣服製造現場における課題の解決を目指す研究機関です。

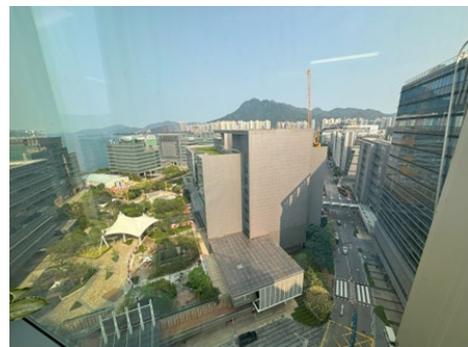
私たちの研究チームは、衣服製造現場における製造部品の取り回しを、自律移動ロボットを用いて自動化する研究を行っております。本研修では、我々が開発し部品取り回しにおけるタスク割り当ての技術と、タスク割り当てに基づいた複数台ロボットの Path Planning 技術を示すデモンストレーションを香港サイエンスパークで行う体制を整えました。

東北大学で作成したロボットを一度分解し、香港サイエンスパークまで輸送し組み立てや周辺環境の整備を行いました。デモンストレーションの見せ方や可視化ツールの改善、デモンストレーション手順の簡略化を行い、Centre for Transformative Garment Production の人が我々なしでデモをできる体制を整えました。滞在期間中、実際にデモンストレーションを行う機会があり、不具合なくデモンストレーションを成功させました。本研修では普段とは異なる環境でロボットの開発運用を行ったことで、不測の事態に対する対応力が鍛えられたと思います。実際、準備中は東北大学側との環境の違いでロボットが動かないことが多々ありました。また、自身の研究成果を他者にわかりやすく伝える技術も鍛えられました。今回は研究成果をデモンストレーションで海外の方に見せる必要がありました。さらには技術開発に深い携わりのない第三者にデモンストレーションを実施していただく環境を合わせて整える必要がありました。可視化ツールの拡充や簡素化だけではなく、ほかの人にロボットを問題なく操っていただくための工夫を行ったのは非常に良い経験でした。

軍司健太（情報科学研究科・応用情報科学専攻・D3）



香港サイエンスパークにおいて複数台のロボットを動作させている様子



Centre for Transformative Garment Production からの眺め